

## 一般研究集会（課題番号：2019K-08）

集会名：多様性と包摂性のある持続可能な減災社会の形成のための研究集会（防災計画研究発表会 2019）

主催者名：国際総合防災学会 IDRiM Society

研究代表者：高木 朗義

所属機関名：岐阜大学 工学部

所内担当者名：畑山 満則

開催日：令和元年9月16日，17日

開催場所：京都大学 宇治キャンパス 連携研究棟大会議室

参加者数：33名（所外21名，所内12名）

- ・大学院生の参加状況：11名（修士8名，博士3名）（内数）
- ・大学院生の参加形態：[ 発表者1名，運営補助1名，その他は聴講参加 ]

研究及び教育への波及効果について

本研究集会は、産官学からの参加者が、防災・減災に関する課題に理論的、実践的にアプローチした際のプロセスを重視した研究発表会である。復旧期に行政・地域での支援型研究を実施した研究者の知見の集積を図ることで新たに露見された災害対応の課題を認識することにより、防災研究のすそ野を広げる効果が期待できる。

研究集会報告

### (1)目的

社会の多様化が進んだ近年、防災・減災に関する課題は多岐に亘りかつ複雑である。誰一人取り残さないことを第一義に掲げたうえで課題に取り組むためには、関連する異分野の専門家と非専門家である実務者が意見を交わす超学際的なアプローチが必要となる。本発表会では、専門家、実務者が行った実践的・理論的な研究・活動を様々な視点から討議し、災害対応・復旧・復興や防災・減災に関する課題解決や今後の展開について議論する。

### (2)成果のまとめ

本研究会では、阪神・淡路大震災以降の災害の復旧・復興活動を通して立ち上がったNPOやその支援研究者、国際総合防災学会に所属する国際防災実践を行う研究者に加えて、環境防災に取り組む行政や研究者も参加した。複数個所で同時に水害・土砂災害が発生した平成30年7月豪雨災害を中心に学際領域にある課題とそれに立ち向かうための知識の共有を図ることができた。また、災害と医療というこれまでの研究会にはない課題についても議論がなされた。この課題は、病院、DMAT、水道局という多面的な実務者目線からの研究発表であり、新たな共同研究の種を作ることができた。今後、さらに頻度を増すと考えられている大災害に対して、極めて社会的意義の大きな研究集会であった。

### (3)プログラム

9月16日(祝)

13:30-13:40 オープニング

13:40-15:10 セッション1

津波浸水想定が沿岸部の人口動態に与える影響に関する分析

中居楓子（名古屋工業大学大学院工学研究科）

自動車による津波避難計画におけるリスク分担に関する研究

奥村 誠（東北大学災害科学国際研究所）

防災まちづくりに活用しうる空き家等の寄付と課題

西嶋 淳（大阪商業大学経済学部・大学院地域政策学研究所）

#### 15:20-16:50 セッション2

北海道胆振東部地震によるブラックアウトの影響

梶谷義雄（香川大学）

キーワード抽出を用いた地域防災計画における災害廃棄物管理に関する比較分析

畑山満則（京都大学防災研究所）

2018 年災害時における移動行動の被災と回復過程の研究

山口裕通（金沢大学）

#### 17:00-18:00 全体討議

高木朗義（岐阜大学）、畑山満則（京都大学防災研究所）

9 月 17 日(水)

#### 9:30-10:30 セッション3

平成 30 年 7 月豪雨災害における住民避難行動—岐阜県 4 市を対象に—

高木朗義（岐阜大学）

ベイジアンネットワークを用いた平成 30 年 7 月豪雨アンケート調査に基づく避難行動要因の分析

杉浦聡志（北海道大学）

#### 10:40-12:10 セッション4

人道支援ロジスティクスにおける物資集積拠点の有用性

河瀬理貴（神戸大学大学院工学研究科）

民間支援連携のための情報プラットフォームのあり方とは？ 平成 30 年 7 月豪雨の経験から

宮川祥子（慶應義塾大学看護医療学部）

日系グローバルサプライチェーンのセミマクロな構造分析の試み —構造変化の視覚化とリスク分析への足掛かりとして—

小川雅史（京都大学経営管理大学院）

#### 13:00-14:30 セッション5

熊本地震における病院避難の多職種による調査から見えた課題と展望

下戸 学（京都大学医学部附属病院）

災害拠点病院の断水対応状況（中間報告）

伊藤秀行（減災ロジスティクス研究所）

地域医療と水道事業の BCP 連携に関する基礎的研究

吉澤源太郎（大阪市）

#### 14:40-15:10 セッション6

すべての災害研究の叢智を結集するには

廣井慧（名古屋大学大学院工学研究科）

災害の経済影響分析の現状と課題

多々納裕一（京都大学防災研究所）

#### 15:50-16:50 全体討議

高木朗義（岐阜大学），畑山満則（京都大学防災研究所）

(4)研究成果の公表

<http://dimsis.dpri.kyoto-u.ac.jp/IPwiki/index.php?forum2019> にて概要を公開中